

こみち 自然の小径

気楽に歩ける散歩道



vol.2

休暇村 いらご
伊良湖

TEL 0531-35-6411

〒441-3615 愛知県田原市中山町大松上1

⑥ 夢見ヶ丘

ここには展望台と、周囲で良く見ることができ鳥のパネルがあります。展望台にのぼってみましょう。松林の向こうに三河湾や、そこを航行する船舶などが見えるかもしれません。

西には、伊良湖岬にある小山と、三重県鳥羽市の「神島」も見えます。北東方向や南には、風力発電の風車ものぞいています。高さは約 100m。一年を通じて風が吹く田原市は風力発電も盛ん。市内には26ヶ所52基の風車が稼働しているそうです。



⑦ さららパーク



この辺りは海浜性植物を主とした公園「さららパーク」です。水の広場の水はこの季節張られていませんが、砂の広場では砂遊びができます。花壇を観察してみましょう。ようやく新葉を出し始めたところ、という植物たちの中に、いち早く花をつけた草もいます。写真の『コウボウムギ(外観から弘法の筆に例えられてその名が付いたとか)』もその一つ。特に雄花は、触ると指が黄色くなるくらい、沢山花粉を備えています。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

春の園地散策

● 知れば知る程かわいい♪ ウグイスの囀り特集。

春になると囀り始めるため『春告鳥』とも呼ばれるウグイス。「ホーホケキョ」の鳴き声には雌へのお誘いや縄張りの主張の意味が込められています(囀るのは雄だけで、雌は囀りません)。因みに他の雄が縄張りに侵入すると低めの声



背は茶色がかった薄灰色、腹は汚れた感じの白色と、地味。

で「ホーホホホキョコ」と威嚇します。

また、「ケッキョケッキョケッキョケッキョ」は『ウグイスの谷渡り』と呼ばれる警戒の鳴き声。上空を鷹が飛んだり人が縄張りに近付いた時などにあげる声で、飛び去りながら鳴いたりもします。ウグイスは、この警戒音と囀りとを合わせて一日に千回も(!)鳴くことがあるそうです。

● 見つかる…かな? ヘンテコな花



MAPの★マークの所で目撃されるこの花。あけびのお花です。大きいのが雌花、小ぶりなのが雄花。美味しい実がなるのかな?

● 新設された小道を探索しよう!

平成28年3月23日から、園地の散策路が増えました! これにより、みどり池により近付けるようになったり、少し遠回りしてより長いウォーキングを楽しめるようにもなりました。MAPを見ながら、その時の気分でお好みの道をご利用ください。

① グラウンド・ゴルフ場と蘇鉄(ソテツ)

芝生の上に黄色い旗が立っているのはグラウンド・ゴルフ場。子供から大人まで遊べる球技で、16ホールあります。

そんなコースの所々に生えている南国風植物はソテツ。42号線沿いに昔あった南国植物園「フラワーパーク」が閉園した際に、休暇村園地へ移植されました。



② ハイネズと若い松たち



地上を這うように広がっているのはハイネズ。マツ目ヒノキ科で、潮風によく耐えるので、海岸砂防に用いられる植物です。球形の実は、秋に黒紫色に熟します。

また、この辺り一帯の背の低い松は、松ぼっくりから自力で生えてきた若木。以前の防風林がマツクイムシによって枯れてしまい、伐採された後に育った分、まだ10年経っていない株も多いです。時折混じる赤い葉の低木はウルシの仲間。触るとかぶれることがあるのでご注意ください。

③ みどり池

休暇村伊良湖と同時に作られた人工池です。鯉やフナ、亀などが生息し、年間を通してカルガモや、大きくて動きがユニークなアオサギの姿を見ることができます。真っ黒くてアオサギ位大きいのは鶉(ウ)。石の上では亀が日干ししていることもあります。



④ 鷹見ヶ丘

あずまやが立っている小高い丘が、「鷹見ヶ丘」。日当たりが良いその斜面には何やらつるをくるくるさせた豆科の草が。大きく、紫の花が一般的なカラスノエンドウ、それに対して小さく、水色の花をつけるのがスズメノエンドウです。

丘に立つと、休暇村伊良湖本館がよく見渡せます。建物の両端を見ると1階部分が無く、浮いているのがわかりますか？ 休暇村本館は、建築家の故黒川紀章氏が若い頃に設計した建物。飛んでいる鳥をイメージしたため、両翼部が浮いているのだそうです。



⑤ 松と風車の観察ポイント

只今、松にとって花の季節。松をよく観察すると、他の季節には見られない不思議な形のものが出ています。それが、「雄花」と「雌花」。松は風によって受粉する「風媒花」。雌花は雄花からの花粉によって受精し、松ぼっくりは1年半かけて成長します。

「チョッピピチュウ！」とよく通る囁りが聞こえたら、近くの枝の先端をみてください。縄張りを主張するホオジロの小さな姿が見つかるかもしれません。



雄花

雌花